

第36回 龍神まつり

甲賀三郎伝説の世界が、
勇壮な舞い、太鼓の響きで繰り広げられる。
7月26日(土)御代田の夏を彩る龍神まつりが行われた。



開

真楽寺で開眼式により目覚めた龍。語り手により物語が伝えられ、離れていた龍は再会する。



舞

昇龍となった甲賀三郎と舞姫。三重の塔の前で勇壮な、そして、華麗な舞いを披露する。駅前会場では、双子の子龍、雪窓丸と龍神丸が元気に駆け巡る。観衆からは声援が上がった。



子ども御輿に、いろいろな出し物。駅前会場・龍神の社公園にみんなの笑顔が集まりました。今年の舞踊流しには、1,100人が参加。龍神の舞には負けてられないぞ！

踊





「鼓響」の太鼓演奏が祭りを盛り上げ、その響きが観衆を魅了する。「子ども太鼓」の演奏も、駅前広場に響いた。



響



様々な響、舞、踊を観客は楽しむ。一方で、出演している家族や友だちにカメラを向けるのに大忙し！子どもたちは屋台に夢中!! 疲れて寝ている子も…。



悲しいけど、祭りの後に残ったのは、思い出だけではないようです。

